

# 培良タイムス

ホームページアドレス <http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyō-jh/>

平成30年3月13日(火)

第13号 最終号

京田辺市立培良中学校

TEL 62-9363

## 平成29年度学校評価等

校長 山上明司

今年も、学校の1年間の様々な取組を評価し、まとめて、来年度の教育活動に反映していく時期がやってきました。保護者や地域の方々のご理解や支援も賜り、今年度も大きな事件・事故等なく、計画していた行事や取組はすべて成功裏に終わっています。特に体育大会や文化発表会等で、3年生の頑張りが光り、その姿をお手本に、1・2年生がしっかりとついていった1年間だったと感じます。そして、3学期には、2年生の修学旅行の取組や、1年生の職業調べの取組の中で、確実に成長の跡が見られたことは、来年度に向けて頼もしい姿でした。

生徒指導状況も全体として落ち着いて推移し、問題行動の件数も、昨年同様大変少ない状況です。いじめに関しては、年間3回のいじめに関する調査で、「からかう・軽くぶつかる」等の、第1段階と呼ばれる事象は数件ありましたが、すべて、指導し、解決しています。しかし、今年度から、いじめの解消の判断については、より厳密に精査するよう、法律による変更があり、見守りを継続している事象もあります。いじめは、「いつ、誰に、起こっても不思議ではない」と言われます。定期的調査だけでなく、今まで以上に随時把握・指導もしていきたいと思います。平成26年に生徒会が作った『いじめ追放宣言』は、培良タイムス6月号にも成立の経過等を記しましたが、その精神が風化しないように、今後も活かしていきたいと思います。

### 生徒アンケートから

生徒に47項目の質問(昨年度より3つ増加)をして、その結果をまとめました。(質問項目と生徒の回答の合計数は、ホームページに掲載予定です。ご参照ください。)生徒は、多くの項目で、高い評価をしています。しかし、昨年度と比較すると、質問項目によっては、少し評価が下がったものもあります。この数年、年々評価が伸びてきていたので、やや頭打ちになった感があります。いくつか傾向ごとにピックアップして説明したいと思います。

### 学校が楽しい

「学校が楽しい」という項目の評価が、年々、少しずつ落ちていて、気になっていたのですが、今年度、全校合計では77%で、昨年度より1%弱、上がりました。学校が楽しいという項目は、生徒が学校に通ってくる1番基本的なことですし、学校の魅力を総合的に表している項目です。楽しいという言葉には、勉強、部活、人間関係など様々な要素があり、難しい面もありますが、教職員で、さらに魅力的な学校づくりの論議を進めていきたいと思っています。

### 授業・学習指導について

授業に関しては、引き続き評価は高いですが、昨年度と比べると下がっています。「授業はわかりやすい」は79%で、昨年度は84%でした。「学校は一人一人にわかるような手立てをしている」は67%で、昨年度は72%でした。その反面、各教科について「授業が楽しい」と答えている生徒は、教科によって違いもあり、数字は省略しますが、全体的に昨年度に比べ高い評価となっています。今後、生徒の学力向上のために『主体的・対話的で深い学びのある授業』を目指して、さらに研修を深め、実践していきたいと考えています。

「コンピュータやテレビを使った授業」は93%で、昨年度より2%アップしました。授業の中で、大型タッチパネルを使って、英語の発音を真似たり、グーグルアースで世界の隅々を俯瞰したりすることが、授業の当たり前の風景にな

りつつあります。また、家庭学習ノート(自主学習ノート)を利用した、家庭学習の習慣づくりも、学力向上に寄与しています。「平日に家庭で学習を全くしないかしても30分未満」の生徒は10%で、京都府の平均を大きく下回っています。特に3年生は、この数字が2%弱で、家庭学習の習慣がしっかりと身につけていることがわかります。

## 道徳・読書の充実

この2つは、本校が、数年前から重点的に努力してきた項目です。2つとも高い評価となっています。「読書に親しめる機会がある」の項目は、全校で85%でした。昨年度よりは少し下がりましたが1、2、3年と、生徒の学年を上がるごとに、評価が高くなっているのが特徴です。朝読書や図書館教育の取組、さらに、図書委員会の図書ニュースや移動図書取組が、評価されていると考えています。

「道徳の時間はいろいろ考えられる」は85%と、昨年度よりアップしました。道徳の時間の充実に加え、各種通信で、生徒の意見や考えを、家庭にしっかりと返していることも、高い評価につながっていると思います。来年度は小学校で、平成31年度は中学校で、道徳が教科化されます。今まで培ってきた培良の道徳教育を基本に、さらに、活発な意見交流ができるような道徳の授業を実践していきます。

## 気になる質問項目

「学校は困っていることに対応してくれる」は69%で、昨年度よりさらに1%上がりましたが、「学校は自分が努力したことを認めてくれる」は73%で、昨年度より5%下がりました。これまで以上に生徒理解や教育相談を進めていく必要性があると考えています。

また、「生徒会の『スマホ・ネット宣言』を実践している」は52%で、昨年に比べ4%減少しています。生活アンケート等で、夜更かし、ネット・ゲームに費やす時間が長いなどの実態も明らかになっています。ネットとの付き合い方や就寝時間等、家庭でもご指導願います。

## 保護者アンケートから

全体的には高い評価をいただいています。昨年度に比べると、下がった項目は少なからずあります。その中で、学校と家庭の連携に関わる項目は、昨年度に比べて、評価が上がっています。「学校は教育の目標や方針をわかりやすく伝えている」は74%で、昨年より3%増えました。「家庭への連絡や意思疎通が図られている」は2%増の81%。「保護者の参観の機会が適切に設けられている」は2%増の88%です。まだまだ割合は少ないですが、「学校のホームページをよく見ている」は5%増の29%でした。

また、「学校は服装・挨拶等、社会のルールを適切に指導している」という項目が7%増の87%となっていました。思春期の生徒を指導するうえで、大変重要な項目ですが、大きな信頼を寄せていただき、今後もしっかりと社会人に育てたいと決意を新たにしています。

教職員は、学校での活動だけでなく、地道な家庭訪問、家庭連絡を積み重ねて参りました。今後もさらにご家庭との連絡を密にして、信頼される学校づくりに努めていきます。

また、評価が低下した項目については、もう一度学校全体で、取組等を検討していきます。

今年度も、保護者の皆様には、本校の教育に多大なご理解、ご支援を賜りました。厚くお礼申し上げますとともに、来年度も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

## 卒業おめでとう



### 3年生を送る会

3月12日(月)生徒会の最後の行事になる『3年生を送る会』が行われました。1・2年生は感謝の気持ちを含めて合唱・呼びかけ、劇で発表しました。恒例の懐かしい写真をスライドで見た後、涙をこらえながらの三年生の発表。体育館は感動に包まれた温かく優しい時間が流れました。

培良中学校を巣立っていく三年生！  
次のステージでも、光り輝いてくれることを祈っています！  
卒業生の光あふれる輝かしい未来に、エールを送ります。  
～培良中学校教職員一同～

#### ～卒業生の保護者のみなさんへ～

「リサイクル」について

体操服がなくなった場合、リサイクルにご協力ください。(ジャージ・シャツ・短パン)

「子ども安全連絡網」について

・連絡先グループの学年繰上げ作業は、市情報教育推進室で一括して行われますので、各個人で作業をしないようにお願いします。

・平成29年度卒業生のカードは回収しませんので、各家庭で廃棄してください。

(下級生の登録がない場合は、4月より利用停止になります。)


「京都府自転車損害保険加入義務化」が決定しました。自転車に乗る場合は必ず保険に加入してください。



#### ～平成27年度入学式～




#### ～平成29年度 3年生を送る会 3年生発表～



学校保健委員会報告

2月27日（火）本校図書室にて



養護教諭 吉田明美

学校保健委員会報告 2月27日（火）

学校医・学校歯科医・学校薬剤師の3名とPTA役員を迎えて「子どもたちのからだや生活から気になること」というテーマで学校保健委員会を開催しました。

まず、担当者から、健康診断、新体力テスト、生活アンケートの結果から見える生徒のからだや生活の実態と各学年の健康安全にかかわる取り組みについて報告をしました。

学校医からは、「ゲーム障害とは」と題してお話をいただきました。

世界保健機関（WHO）がゲーム依存を疾患に盛り込む見通しである。ゲームをすると、視力が下がるとか、腱鞘炎になるとか、光過敏性発作を引き起こす可能性があるなど身体的デメリットが言われます。集中力も落ちてきたなど精神面のデメリットも言われます。

ゲームをする衝動がとめられない、他の生活上の関心事や日常の活動よりゲームを優先する、問題が起きているがゲームを続けるなどが12か月以上続いているなどが基準となり診断がされます。

ゲーム障害は脳における反応がアルコールなどの物質依存と似ている。

治療に際しては、その他の依存症と同様に「家族の病」と受け止め、家族間の「絆」を再構築し、家族も変わる必要がある。とまとめられました。

歯科校医さんは歯肉炎のケアを促すように厳しい目にチェックしています。将来にわたって自分の口の中のケアをすることが大事ですと話されました。

薬剤師さんからは、子どもがカフェインを必要以上に摂取することの弊害を話していただきました。お茶や、コーヒーに含まれるカフェインですが、清涼飲料水の中に多量に含まれるものがあるので注意が必要です。

